キャラクター名
『0916』（生前の名前：鶴松　楪）

プレイヤー名

シンドローム	バロール ハヌマーン	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	UGNエージェントB
オプショナル		年齢	24	性別	男
覚醒	死	衝動	闘争	初期侵食率	34 %
出自	母親不在	経験	実験体	邂逅	幼子　テレーズ・ブルム

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	2	1	2			5
精神	3	0	1			4
社会	2	0	0			2

HP	26
行動値	14
(非装備時)	14
戦闘移動	19
全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		ＲＣ	2		交渉		
回避	2		知覚	1		意志			調達	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

柔らか頭塾（ソフト）	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
父親	P　尊敬	N　嫌気		
研究員	P　純愛	N 敵愾心		
テレーズ・ブルム	P　慈愛	N　憐憫		
梅山白百合	P　庇護	N　嫌悪		
古部　六	P　誠意	N　脅威		
	P	N		
対抗手	P　遺志	N　脅威		

最大財産P: 8	残り財産P： 6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト（ハヌーマン）	2	2	メジャー	ー	ー	ー	ー	
効果： 組み合わせた判定のC値-[Lv](下限7)								
死神の瞳	1	3	メジャー	視界	単体	対決		
効果 :射撃攻撃、対象が次に受ける攻撃のダメージを+[Lv+2]Dする　対象にHPダメージを与えることができない　シーン終了or効果発動まで継続								
サイレンの魔女	3	5	ﾒｼﾞｬｰｱｸｼｮﾝ	視界	ｼｰﾝ（選択）	対決（ＲＣ）	ー	
効果： 攻撃力+[LV*3]のＲＣ攻撃。装甲無視。コンセ不可								
波紋の方陣	1	3	ｵｰﾄｱｸｼｮﾝ	視界	単体	自動	80%	
効果： HPﾀﾞﾒｰｼﾞ適用直前自使用、ﾀﾞﾒｰｼﾞ-[LV+1]D、自身対象不可　1R1回								
振動球	1	3	ﾒｼﾞｬｰｱｸｼｮﾝ	視界	ー	ＲＣ	ー	
効果： 「攻撃力：＋ＬＶ」の射撃攻撃を行う。この攻撃では対象の装甲値を無視してダメージを算出する。								
ディメンションゲート	1	3	メジャー	至近		自動		
効果： 空間接続して行きたい所に行ける何所でもドア。他人も使用できる。ただし緊迫した状態や戦闘中では使用できない。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

冷めた性格で、万事がどうでもいいように振る舞うアンニュイ青年。
ぶっきらぼうな受け答えに終始する。時折びっくりするほど少年らしい反応をする。
しかし根は寂しがり屋かつお兄さん気質なので、気に入った相手にはとことん面倒を見てしまう。

【備考】
バロールの力を使ってるときや感情が昂ぶると眼帯側の目が赤くなる。

【IXの過去】
体の弱い母親(ハヌマーンのシンドローム持ち)とそんな母親を溺愛していた父親(シンドロームなし)の間に生まれた。
IXが産んだ時に母親は亡くなってしまう。
日に日に成長していくIXの姿が母親そっくりで父親の心はどんどん歪んでいってしまった。
そんなある日父親はとあるレネゲイドを研究している研究所の研究員にそそのかされIXをその研究所に引き渡すことを決意。
以後引き渡されたIXはその研究所での実験体として酷く扱われていった。その時に名前や出自などを全て奪われ、新たに与えられたのは実験体としての数字「0916」だけだった。
とある実験で持っているであろう遺伝子的なシンドロームと無理やり他のシンドロームを組み合わせる事はできるかという実験でその実験途中の過程で命を落とす。その時にレネゲイドが覚醒し、母親譲りのハヌマーンと実験で無理やり組み合わせられようとしたバロールの力を得るのだった。
力を得て息を再び吹き返した際に暴走してしまい本能のままに戦いその研究所に巨大な爪後を残す事になり、その異変に察知したUGNの機関ににその研究所は抑えられた。その時にテレーズ・ブルムに保護され以降UGNに入り後にエージェントとまでのぼりつめる。